

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

マイクロンメモリ ジャパン株式会社 Fab15

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市吉川工業団地7番10号

(3) 業種

集積回路製造業(2814)

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成19年度を基準年度とし、平成29年度の1年間とする。

3 計画の基本的な方向

マイクロンは環境品質を維持し、従業員の健康、安全およびセキュリティを守ることに努めます。我々はこれらのコミットメントを果たすべく、継続的な改善に積極的に取り組みます。

我々は業務上の疾病、労働災害、会社資産の損失の防止に努め、安全かつ健康で安心できる職場を維持します。

また、大気、水、土地およびエネルギーへの影響を軽減すべく、事業計画や製造の開始段階で対策を講ずること、当社事業が環境に与える影響を最小限に抑えるよう努めます。

当社の全リーダーは、規則に準拠し安全で安心できる職場をリードし、実現、維持する事に責任を負っており、すべての経営幹部、従業員、派遣/請負社員は、EHSSに関わる危険性やリスクの特定、排除、管理に協力して対応する事が求められます。

すべての従業員、派遣/請負社員は、「マイクロン事業倫理規定 (Micron's Code of Business Conduct and Ethics)」に盛り込まれた事項を含め、関連するEHSS手順および適用される法的要件に従わねばなりません。

これらのEHSSポリシーや施策に対するマイクロンのコミットメントは、我々の職場、周辺環境、そして私たちが生活する地域社会にとっての利益をもたらすものです。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成19年度	平成27年度
二酸化炭素	505,000	576,474

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成19年度	平成27年度
メタン	3,585	6,600
一酸化二窒素	873	1,200
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)	280,967	288,300

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方	s			

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

エネルギー消費量(1000kWh) / 生産量(1000kWh)

(kg等)

削減率 (%)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位置量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類 温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 19 年度)			削減目標 削減率 (d)	目標年度 (平成 29 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 数値 (c)		排出量 見込量 (e)	原単位 見込量 (f)	削減率 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	541,000	3,100,000	0.17	11.8	585,000	3,900,000	0.15
非エネルギー起源CO ₂				0.0			
メタン				0.0			
一酸化二窒素				0.0			
その他 温室効果ガス	281,000	3,100,000	0.09	0.0	365,000	3,900,000	0.09
総排出量	822,000	3,100,000	0.27	11.1	950,000	3,900,000	0.24
(原油換算k1) エネルギー消費原単位	247,809	3,100,000	0.08	17.7	250000	3800000	0.07
目標設定の考え方	前年度と比較し、今回新たに広島県地球温暖化防止地域計画の基準年度と合わせ、省エネ法の届出では原単位をTt数としているが、本報告ではより生産に結びついた投入枚数とする。直近の実績を考慮し、基準年度比7.4%削減とする。基準年度はこれまで前身の会社創設時としていたが、今回新たに広島県地球温暖化防止地域計画の基準年度と合わせる。省エネ法の届出では原単位をTt数としているが、本報告ではより生産に結びつ						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー原単位の改善	CO2排出量・ウェハー投入枚数原単位平成19年度比11%削減	高効率CGSの稼動、生産性の向上
2	PFC排出量の削減	PFC排出量・ウェハー投入枚数原単位平成19年度比で増加なきこと	排ガス除害装置の積極導入及び安定稼動
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

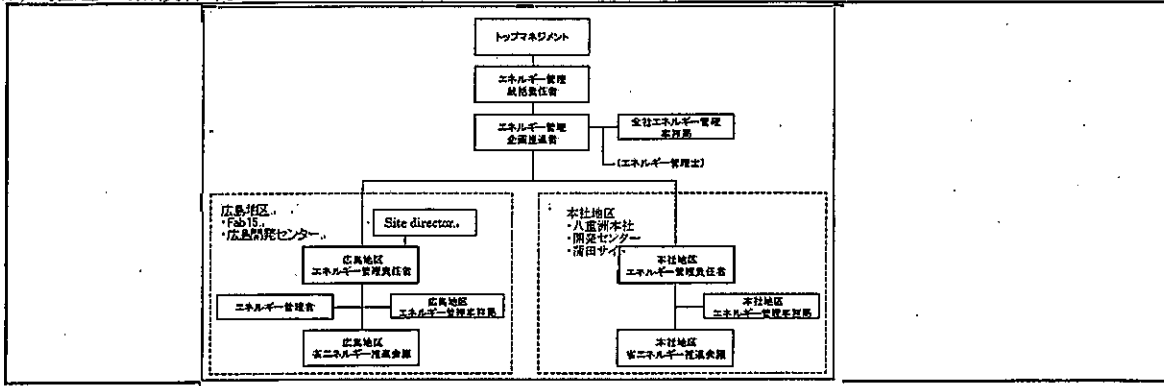
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電力使用量削減	240,000kW/月削減	外調機省エネ運転、熱交換システム見直しなど
2	水使用量削減	10,000m ³ /月削減	装置見直しによるCMP排水削減
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

当社の環境マネジメントシステムに基づいて、環境目的目標の項目として推進しており、実績集計は月単位で行い、達成状況を社内報告している。また、年度のまとめはマネジメントレビューにて実施している。

(3) 計画書等の公表

・外部からの開示要求に対して公表する。